

令和 2 年度

後期高齢者医療特別会計

主要施策 成果の報告書

京都府 木津川市

目 次

決算の概要	1
決算の状況		
後期高齢者医療特別会計決算の状況		
1. 歳 入	2
2. 歳 出	2
主要施策の成果		
1. 歳入の概要	3
2. 歳出の概要	4
参考資料	5

令和2年度 後期高齢者医療特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支

(1) 決算規模

令和2年度の決算規模は、

歳入 1,058,358 千円 (前年度 940,449 千円)

歳出 1,049,512 千円 (前年度 909,259 千円)

となり、決算規模の対前年度比較は、歳入が 117,909 千円、12.5%の増、歳出が 140,253 千円、15.4%の増となった。

(2) 決算収支

*実質収支

令和2年度の歳入歳出差引額(形式収支)は、8,846 千円で翌年度に繰越すべき財源はないため、実質収支の額も 8,846 千円となった。

*単年度収支

今年度の実質収支(8,846 千円)から前年度の実質収支(31,190 千円)を差し引いた単年度収支は、△22,344 千円となった。

*実質単年度収支

考慮する基金積立金、繰上償還金等はないため、実質単年度収支の額も△22,344 千円となった。

2. 歳入

令和2年度の歳入総額は、1,058,358 千円となり、前年度と比較すると 117,909 千円(12.5%)の増となった。歳入の概要は、次のとおりである。

後期高齢者医療保険料は、822,367 千円で、前年度と比較すると 96,239 千円(13.3%)の増となった。一般会計繰入金は、176,365 千円で、前年度と比較すると 9,017 千円(5.4%)の増となった。

3. 歳出

令和2年度の歳出総額は、1,049,512 千円となり、前年度と比較すると 140,253 千円(15.4%)の増となった。歳出の概要は、次のとおりである。

京都府後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金は、839,706 千円で、前年度と比較すると 130,032 千円(18.3%)の増となった。

また、低所得者への保険料軽減にかかる保険基盤安定負担金としての後期高齢者支援金は、149,533 千円で、前年度と比較すると 21,062 千円(16.4%)の増となった。

健康診断委託料は、42,120 千円で、前年度と比較すると 8,599 千円(17.0%)の減となった。

後期高齢者医療特別会計 決算の状況

1. 歳入

(単位：円、%)

項目	令和2年度決算額 ①	令和元年度決算額 ②	増減 ①-②	増減率
1. 保険料	822,366,799	726,127,409	96,239,390	13.3
現年度分特別徴収保険料	524,520,558	463,467,092	61,053,466	13.2
現年度分普通徴収保険料	294,932,635	260,891,050	34,041,585	13.0
滞納繰越分普通徴収保険料	2,913,606	1,769,267	1,144,339	64.7
2. 使用料及び手数料	87,500	88,800	△ 1,300	△ 1.5
3. 寄附金	0	0	0	0
4. 繰入金	176,364,813	167,347,740	9,017,073	5.4
5. 繰越金	31,190,270	17,742,687	13,447,583	75.8
6. 諸収入	28,348,500	29,142,259	△ 793,759	△ 2.7
合計	1,058,357,882	940,448,895	117,908,987	12.5

2. 歳出

(単位：円、%)

項目	令和2年度決算額 ①	令和元年度決算額 ②	増減 ①-②	増減率
1. 総務費	5,413,157	4,965,951	447,206	9.0
総務管理費	3,648,411	3,380,795	267,616	7.9
徴収費	1,764,746	1,585,156	179,590	11.3
2. 後期高齢者医療広域連合 納付金	989,238,782	838,144,706	151,094,076	18.0
3. 保健事業費	45,689,309	53,584,581	△ 7,895,272	△ 14.7
4. 諸支出金	9,170,877	12,563,387	△ 3,392,510	△ 27.0
合計	1,049,512,125	909,258,625	140,253,500	15.4

主要施策の成果

1. 歳入の概要

(1) 後期高齢者医療保険料

令和2年度における全体の調定額は827,249,377円で、前年度と比べて94,987,461円(13.0%)の増となった。そのうち現年度分特別徴収の調定額は523,351,238円で、前年度と比べて60,822,891円(13.2%)の増となった。また、現年度分普通徴収の調定額は297,425,576円で、前年度と比べて33,625,700円(12.7%)の増となった。保険料納付については、特別徴収(年金天引き)を基本としており、普通徴収へ切り替えを希望される場合には口座引き落としによることとして、確実な収入の確保に努めている。

一方、滞納繰越分の調定額は6,472,563円で、前年度と比べて538,870円(9.1%)の増となった。

次に、収納額については、現年度分の特別徴収は524,520,558円(還付未済額を含む)で収納率は100%、現年度分の普通徴収は294,932,635円(還付未済額を含む)で収納率は99.2%で、前年度と比べて0.3ポイントの増となった。滞納繰越分は2,913,606円で収納率は45.0%となった。

未納者に対しては、督促状に加えて催告書の送付、分納等の納付相談等を行い収納率の向上と医療制度運営のため公平性の確保に努めている。

(2) 使用料及び手数料

後期高齢者医療保険料の納期限後(督促状発送後)の納付について、木津川市後期高齢者医療に関する条例第5条の規定に基づき督促手数料87,500円を徴収した。

(3) 寄附金

収入実績はなく、前年度と同様0円となった。

(4) 繰入金

一般会計からの繰入金として、事務費に係る経費に7,615,000円、保険基盤安定負担金として149,532,813円、健診事業に係る市の負担経費として19,217,000円を繰入れた。

(5) 繰越金

繰越金については、令和元年度からの繰越金で31,190,270円となった。

(6) 諸収入

その他の収入として、後期高齢者医療保険料の延滞金8,800円、保険料還付金956,482円、後期高齢者健康診査事業費補助金15,612,704円、人間ドック事業等に対する特別対策補助金11,770,514円の収入があった。

2. 歳出の概要

(1) 総務費

後期高齢者医療保険事業運営に伴う必要経費として 5,413,157 円を支出した。前年度に比べて 447,206 円 (9.0%) の増となった。被保険者証の発行や給付額決定通知等に係る一般管理事業費、保険料の賦課や収納にかかる経費を支出する徴収事業費、また滞納処分にかかる経費を支出する滞納処分事業費を計上しており、それぞれの事業目的に応じて印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、口座振替手数料等を支出した。

(2) 後期高齢者医療広域連合納付金

京都府後期高齢者医療広域連合に対する納付金として、特別徴収及び普通徴収により徴収した保険料を 839,705,969 円、低所得者への保険料軽減にかかる保険基盤安定負担金としての後期高齢者支援金を 149,532,813 円それぞれ拠出した。

(3) 保健事業費

被保険者の健康管理及び医療費の抑制を図るため、後期高齢者医療保険被保険者を対象とした健康診査事業と人間ドック事業等を実施した。

健康診査事業委託料等として 31,476,808 円 (2,768 人受診、受診率 31.2%) を支出した。前年度と比べて 1,392,906 円の増 (受診者 34 人増加、受診率 0.6 ポイント減少) となった。

また、人間ドック事業は平成 22 年度より実施している事業で、事業委託料として 10,643,000 円 (367 人受診、受診率 4.2%) を支出した。前年度と比べて 9,992,040 円の減 (受診者 152 人、受診率 1.9 ポイント減少) となった。

健康診査事業と人間ドック事業の合計受診者数は 3,135 人、受診率は 35.3% で、前年度より 118 人減少、受診率は 2.5 ポイント減少した。

加えてこれら事業にかかる事務経費として、通信運搬費 1,269,072 円、発送業務等委託料 1,422,629 円を支出した。

(4) 諸支出金

過年度過誤納還付金 956,482 円を支出した。

納付された保険料は当該年度に京都府後期高齢者医療広域連合に納付し、償還金支出により還付した過年度保険料については、京都府後期高齢者医療広域連合から歳入予算の諸収入で受け入れる仕組みとなっている。

参考資料

後期高齢者医療保険 被保険者数の推移

	元年度			2年度		
	2年3月末	増減	対前年度比	3年3月末	増減	対前年度比
木津川市	8,719人	369人	4.4%	9024人	305人	3.5%
(参考) 京都府全体	374,873人	6,948人	1.9%	376,197人	1,324人	0.35%